

令和2年度 学校教育自己診断（全教員：回答114名・回答率95%）

大阪府立東淀川支援学校

	診断内容	A よくあてはまる	B あてはまる	C あまりあてはまらない	D あてはまらない	E わからない
1	各部・学年・学習班で、学習指導計画・指導方法・支援の手立てについて、教職員間で話し合っている	31%	59%	7%	2%	2%
		89%		9%		2%
2	各分掌や各部・学年間の連携が円滑に行われ、機能している	13%	51%	25%	8%	3%
		64%		33%		3%
3	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている	16%	50%	21%	5%	8%
		66%		26%		8%
4	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、教職員で日常的に話し合っている	30%	51%	14%	3%	2%
		81%		17%		2%
5	すべての教育活動において、人権尊重の姿勢に基づいた指導が行われている	25%	53%	12%	4%	6%
		78%		16%		6%
6	教職員は児童生徒の障がいをよく理解し、多様な障がいに対応した指導を行っている	24%	58%	11%	4%	3%
		82%		15%		3%
7	個別の教育支援計画・個別の指導計画について、本人と保護者のニーズを踏まえて作成している	27%	62%	7%	3%	1%
		89%		10%		1%
8	個別の教育支援計画・個別の指導計画について、教職員間の共通理解を図り、活用している	25%	46%	24%	4%	1%
		71%		28%		1%
9	校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている	18%	43%	25%	11%	3%
		61%		36%		3%
10	校内研修は、教育実践に役立つ内容になっている	15%	44%	28%	11%	2%
		59%		39%		2%
11	校長は教育理念や学校経営についての考え方を明らかにし、リーダーシップを発揮している	15%	46%	22%	10%	7%
		61%		32%		7%
12	学校運営に、教職員の意見が反映されている	5%	33%	33%	20%	9%
		38%		53%		9%
13	教職員の適性・能力に応じた業務分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある	5%	37%	32%	18%	8%
		42%		50%		8%
14	教職員の服務規律への自覚は高い	13%	60%	13%	4%	10%
		73%		17%		10%
15	個人情報保護の観点から、児童生徒の個人情報に関する管理システムが確立している	14%	61%	15%	6%	4%
		75%		21%		4%

令和2年度 学校教育自己診断（全教員：回答114名・回答率95%）

大阪府立東淀川支援学校

	診断内容	A よくあてはまる	B あてはまる	C あまりあてはまらない	D あてはまらない	E わからない
16	コンピュータ等のICT機器が授業等で活用されている	19%	54%	21%	3%	3%
		73%		24%		3%
17	給食時間や授業において、食に関する指導を行っている	15%	71%	14%	0%	0%
		86%		14%		0%
18	学校行事が児童生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている	21%	59%	15%	4%	1%
		80%		19%		1%
19	学校ではカウンセリングマインドを取り入れた児童生徒指導を行っている	16%	47%	22%	3%	12%
		63%		25%		12%
20	児童生徒の問題等について学級担任が相談できる校内支援体制が整っている	18%	62%	12%	4%	4%
		80%		16%		4%
21	いじめ(疑いも含む)が起こった際に、迅速に対応する体制が整っている	15%	55%	14%	4%	12%
		70%		18%		12%
22	児童生徒の指導において、家庭や関係諸機関との連携ができています	21%	63%	10%	4%	2%
		84%		14%		2%
23	児童生徒が将来の進路や生き方について、考える機会を設けている	15%	61%	18%	3%	3%
		76%		21%		3%
24	児童生徒の適性に応じた進路選択ができるよう、きめ細かな進路指導を行っている	15%	54%	18%	1%	12%
		69%		19%		12%
25	情報提供の手段として、学校のホームページが活用されている	17%	40%	30%	3%	10%
		57%		33%		10%